

令和2年6月号

【発行元】

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会  
〒501-3246

関市緑ヶ丘2-5-78

TEL : 0120-337-301

FAX : 0575-24-5733

# 月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

※記事引用・厚生労働省・国土交通省・㈱官公通信社・高齢者住宅新聞社・福祉新聞・日本経済新聞 他

## コロナに備え、隔離棟の確保 施設内に災害用テントを設置



静岡市内で知的障害者施設を運営する明光会（寺田千尋理事長）は、感染が疑われる利用者が発生した場合に備え、隔離棟の確保に踏み切った。法人史上初の試みで、施設内の集団感染を防ぐ狙いがある。

同法人の利用者は約230人（入所約90人、通所約140人）で、職員およそ130人で支援を行っている。

新型コロナウイルスの発生を受け、職員のマスク着用▽頻繁なアルコール消毒▽毎朝の検温▽職員によるマスク製作▽短期入所・日中一時支援の中止など、出来る限りの感染予防策を講じている。

ただ、利用者の中にはマスクの着用を嫌がる人や、症状を言葉で表現できない人もいます。感染すると重症化しやすいとされる、基礎疾患を持つ人や高齢の人もおり、万が一発生

した場合の対応に気をもむ状況が続いていた。

3月下旬に法人の敷地内にある日用品の保管場所にする予定の建物を「隔離棟」として活用することに決めた。37.5度以上ある利用者の受け入れを想定しているという。

約100平方メートルの建物には、大部屋のほか、トイレやシャワー、台所、更衣室も完備している。大部屋には住居の代わりとして、数年前に購入していた災害用テント4張を設置。利用者は必要最低限の荷物を持ち込み、ここで生活する。

テントは大人2人ほどが寝転がれるファミリーサイズだが、1人が1張を使うことで、「3つの密」（密閉、密集、密接）の防止にも役立てる。幸いにも、4月20日の時点では、隔離棟を利用した人はいない。

同法人ではほかにも、感染が疑われる利用者への介助や、職員自身が感染して欠員が生じた事態に備え、職員の応援体制も整備しているという。

こうした対策は、利用者だけでなく、利用者の家族や入所職員にとっても心強い対策であると思われる。安心・衛生的な運営をすることはもちろんであり、引いては利用者以外の関係者の信頼をより得られるといった意味合いでもコロナの状況下での対策は重要視されると考えられる。